

〈自分たちでつくるみんなの学校 ～挨拶と笑顔あふれる学校を目指して～〉



成美っ子

学校だより 令和7年度No.7

新たな挑戦

第3学年担任 楠 尚久

成美小学校に赴任して2年目になりました。いきなりですが、私が専門としている教科は、保健体育です。そのこともあって、私はこれまで勤めてきたほとんどの小学校で、運動に関する分掌を担ってきました。成美小学校に赴任することが決まったときも、「当然そうなるだろう」と考えていました。ところが、私の分掌は「花壇」でした。さらに、成美小学校が花壇コンクールで何度も受賞している学校だということも、恥ずかしながらそれまで知りませんでした。「運動に関する分掌しか経験したことのない自分に務まるのだろうか」「花に関する知識が全くない自分で大丈夫なのだろうか」と何度も自問自答しました。何かの間違いなのではないかとまで考えました。ただ、そんなことばかりをいつまでも考えていられる状況ではありませんでした。各学年の花壇のデザイン決め、花の苗の注文、花を植える段取り、花を植えてからの花壇の世話、花壇コンクールに向けての準備等、やらなければならないことが山のようにあったからです。

初めてのことで大変でしたが、栽培委員会の5、6年生や花の世話をする成美っ子の活躍、地域・保護者の皆様や周りの教職員の協力もあり、花は見る見るうちに大きくなっていきました。市の花壇コンクールでは、モデル花壇賞、県の花壇コンクールでは、最優秀賞をいただけるまでの立派な花壇になりました。結果を聞いたときには、充実感で胸がいっぱいになりました。

そして、昨年度に引き続き、今年度も花壇の担当になりました。成美小学校で花壇を担当したことで、多くの花の名前を覚え、花に関する知識も増えました。2年目になり、心にも余裕ができた分、よりよい花壇にするためのアイデアを出したり、より成長を楽しみながら世話をしたりすることもできるようになりました。

誰にとっても初めての経験というのは、不安で心がいっぱいになるものだと思います。しかし、それは同時にこれまで知らなかったことを知るチャンスであり、自分のできることを増やすよい機会になるということでもあります。実際、私もこの学校で花壇に深く携わったことで観葉植物に興味をもつようになり、小さいものですが、家で育てるようになりました。毎日楽しみながら世話をしています。

私にとって、花壇に深く携わる成美小学校での挑戦は、自分自身の可能性や自分の世界を広げる大きなきっかけとなりました。これからも新しいことに挑戦し続ける自分でありたいと思います。